

取扱説明書・施工説明書

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

取扱説明書

取扱上の注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

8混合器内蔵RF切替器

Model HESWM8B

目次

表紙

説明の始まる
ページ

〔取扱説明書〕

取扱上の注意……………1

メンテナンス……………1

外観および寸法図……………1

安全上の注意……………2

廃棄上の注意……………2

特 長……………3

付属品……………3

系統図……………3

各部の名称および機能……………4

標準性能表……………5

電源ユニット着脱方法……………6

〔施工説明書〕

設置場所・条件……………7

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法……………7

電源コードの接続方法……………7

操作スイッチ／状態表示部について……………8

接点入力・出力端子について……………9

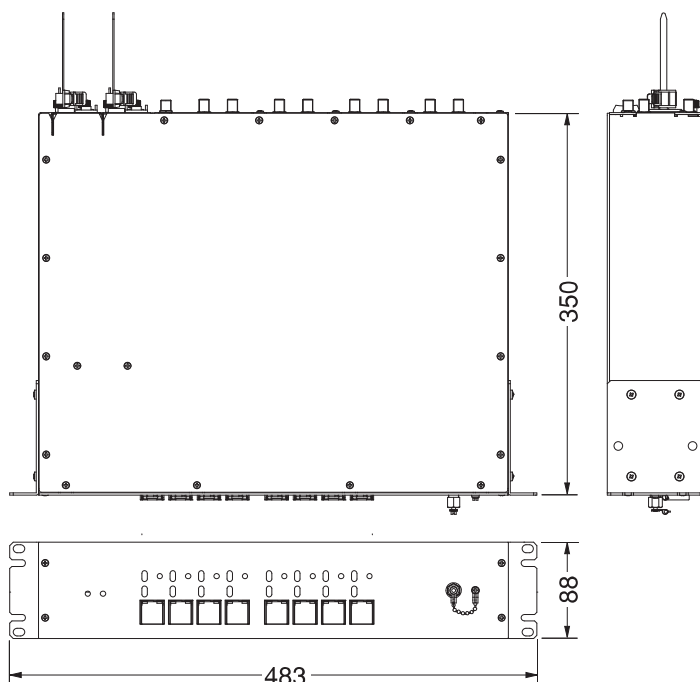
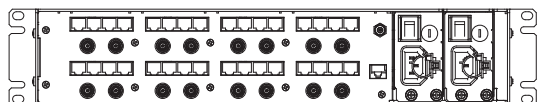
システム例……………11

システム操作手順……………12

保証書……………12

外観および寸法図

単位：mm
質量：約8kg



安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●本器の上面カバー（接続端子部カバーは除く）をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



廃棄上の注意

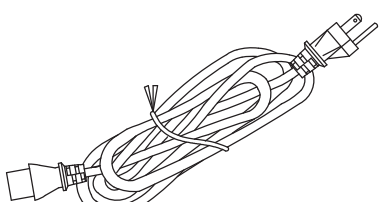
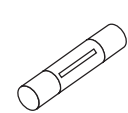
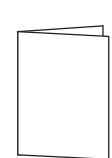
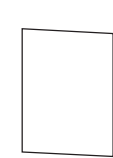
本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

特 長

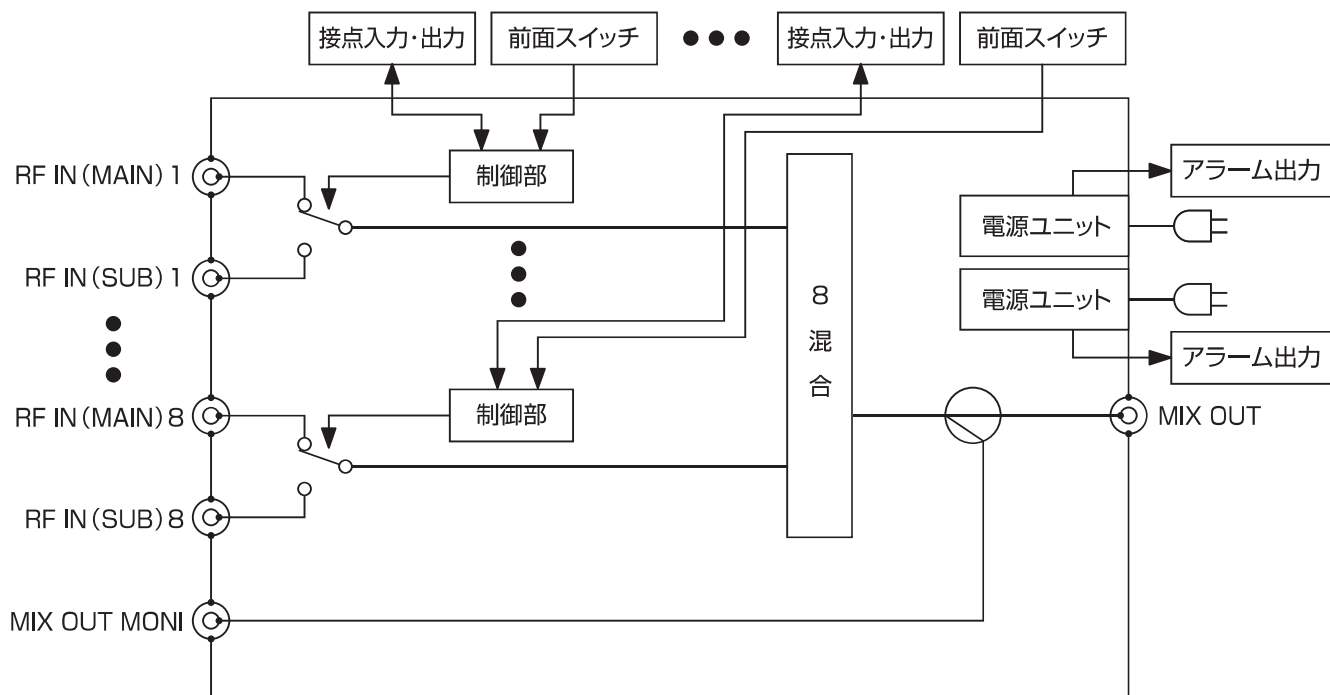
1. 本器は運用 (MAIN) 系と予備 (SUB) 系のRF信号最大 8 波を切替え、混合して出力する装置です。
2. 8系統のRF切替スイッチと8混合器を内蔵しておりますので、1対1冗長で最大8波のシステム構築が可能です。
3. 切替動作はAUTO／MANUALの2種類の動作モードを選択できます。
4. 前面の切替スイッチまたは背面の接点入力の状態に応じてMAIN／SUBの切替を行いますので、外部接点出力機器と接続しての自動切替・遠隔切替など、様々なシステムに対応可能です。
5. 各種接点出力端子を設けておりますので、外部接点入力機器 (接点監視装置) を使用することで遠隔監視が可能です。
6. 電源部はユニット構造で2台冗長運用ができますので、信頼性の高いシステム構築が可能です。

付属品

●お取り付けの前に下図の部品が間違いなく入っているか、ご確認ください。

ACケーブル	予備ヒューズ	取扱説明書	試験成績書
 2m×2本	 2個	 1 部	 1 部

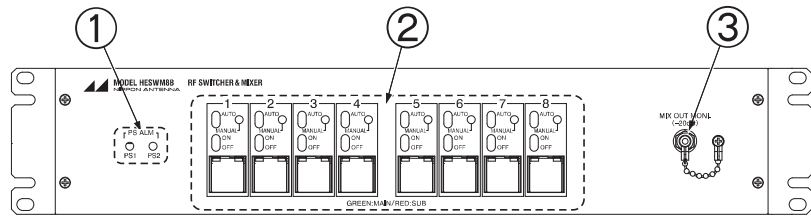
系統図



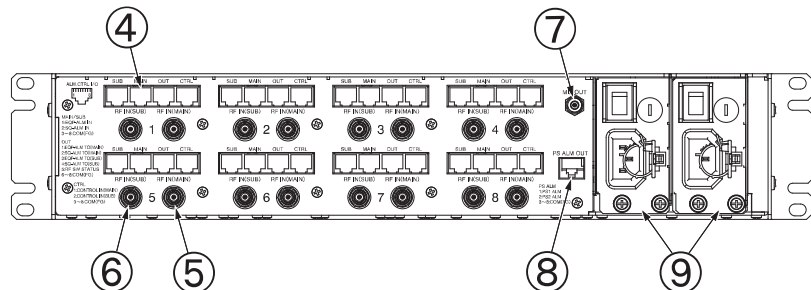
各部の名称および機能

■HESWM8B本体

●前面



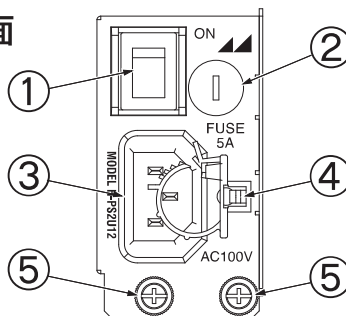
●背面



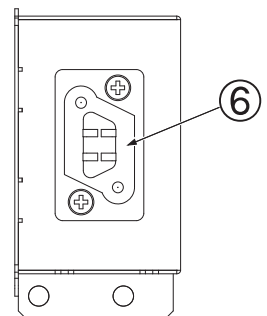
①	電源アラームランプ	電源ユニットのアラーム表示ランプです。PS1、PS2の各電源ユニットの出力電圧が低下すると赤く点灯します。
②	操作スイッチ／状態表示部	各RF切替スイッチのON／OFF、動作モードの設定、MAIN／SUBの手動切替をおこなう操作スイッチ、および設定・動作状態の表示部です。入力1～入力8の各RF切替スイッチごとに独立して設定・操作が可能です。
③	混合出力モニター端子	8波混合出力信号のモニター端子です。(結合損失-20dB)
④	接点入力・出力端子	各RF切替スイッチごとに接点入力6系統、接点入力の分岐出力4系統、MAIN／SUBの切替状態出力1系統を備えています。
⑤	RF入力端子 (MAIN)	運用系のRF入力端子です。使用しない場合は必ず75Ωダミー抵抗で終端してください。
⑥	RF入力端子 (SUB)	予備系のRF入力端子です。
⑦	混合出力端子	8混合器の出力端子です。各RF切替スイッチで選択されたRF信号を混合して出力します。
⑧	電源アラーム端子	電源ユニットのアラーム出力です。PS1、PS2の各電源ユニットの出力電圧低下時にアラーム信号を出力します。
⑨	電源ユニット (PS1、PS2)	電源部はユニット式で2台の冗長運用が可能です。

■電源ユニット H-PS2U12

●前面



●背面



①	電源スイッチ	電源ユニットのメインスイッチです。電源をONにするとスイッチ内蔵のLEDが緑に点灯します。
②	ヒューズ (5A)	定格5Aのタイムラグヒューズが付いています。
③	△注意	必ず指定されたヒューズをご使用ください。機器故障の原因になります。
	AC100Vインレット	AC100Vを入力します。指定の電圧以外の電源は入力しないでください。
④	△注意	必ず付属の電源コードをご使用ください。機器故障の原因になります。
	電源コード抜け防止機構	AC100Vインレットから電源コードが抜けるのを防止します。
⑤	電源ユニット取付ねじ	電源ユニットを本体に固定するためのねじです。
⑥	出力端子	DC12Vおよび電源アラーム信号の出力端子です。

標準性能表

■HESWM8B総合

項 目			性 能				備 考
切替選択			AUTO／MANUAL (強制MAIN／SUB)				スイッチ切替
周波数帯域 (MHz)			70～470	470～770	770～2150	2150～2602	
挿入損失 (dB)			14以下	17以下	26以下	28以下	8混合器含む
アイソレーション (dB)			60以上	50以上	30以上	30以上	MAIN－SUB端子間
入力・出力VSWR			2.0以下		2.5以下		
最大入力レベル (dBμV)			110		100		
入力・出力インピーダンス (Ω)			75				C15型 F型端子
混合出力モニター結合量 (dB)			－20±2.0				
切替表示			MAIN時：緑点灯、SUB時：赤点灯、OFF時：消灯				前面照光式プッシュスイッチ
接 点 入 力	接続対象		外部接点出力機器 (無電圧接点出力、オープンコレクター出力)				
	接続形式		フォトカプラー入力 (DC12V駆動 短路電流10mA max)				RJ-45型モジュージャック
	入力接点数		6				
	入力分岐接点数		4				
	AUTO時 RF切替器 動作条件1	MAIN側	CONTROL (MAIN)：クローズ、CONTROL (SUB)：クローズ CONTROL (MAIN)：クローズ、CONTROL (SUB)：オープン				※1
		SUB側	CONTROL (MAIN)：オープン、CONTROL (SUB)：クローズ				
	AUTO時 RF切替器 動作条件2	MAIN側	EQP (MAIN)：クローズ、SQ (MAIN)：クローズ、SQ (SUB)：クローズ EQP (MAIN)：クローズ、SQ (MAIN)：クローズ、SQ (SUB)：オープン EQP (MAIN)：クローズ、SQ (MAIN)：オープン、SQ (SUB)：オープン				※2
		SUB側	EQP (MAIN)：オープン、SQ (MAIN)：クローズ、SQ (SUB)：クローズ EQP (MAIN)：オープン、SQ (MAIN)：クローズ、SQ (SUB)：オープン EQP (MAIN)：クローズ、SQ (MAIN)：オープン、SQ (SUB)：クローズ EQP (MAIN)：オープン、SQ (MAIN)：オープン、SQ (SUB)：クローズ EQP (MAIN)：オープン、SQ (MAIN)：オープン、SQ (SUB)：オープン				
接 点 出 力	接続形式		フォトカプラー絶縁NPNオープンコレクター (DC30V 10mA max)				RJ-45型モジュージャック
	RF SW STATUS動作条件		MAIN時：ショート、SUB時：オープン、電源断時：オープン				
	PS ALM OUT動作条件		正常時：ショート、電源断時：オープン				PS1、PS2
不要放射 (dBμV/m)			34以下				3m法による
耐雷性 (kV)			±15 (1.2／50μs)				RF入力・出力端子、電源端子
電源電圧 (V)			AC100±10% (50／60Hz)				2電源冗長
消費電力 (W)			7				最 大
使用温度範囲 (℃)			0～+40				本体周囲温度
外形寸法 (mm)			88 (H)×483 (W)×350 (D)				突起物含まず
質 量 (kg)			約8				

※1 AUTO時RF切替動作条件1はEQP (MAIN)、SQ (MAIN)、SQ (SUB) の状態に関わらず切替動作をおこなう。(外部強制切替)

※2 AUTO時RF切替動作条件2はCONTROL IN (MAIN) : オープン、かつCOTROL IN (SUB) : オープンの場合。

標準性能表

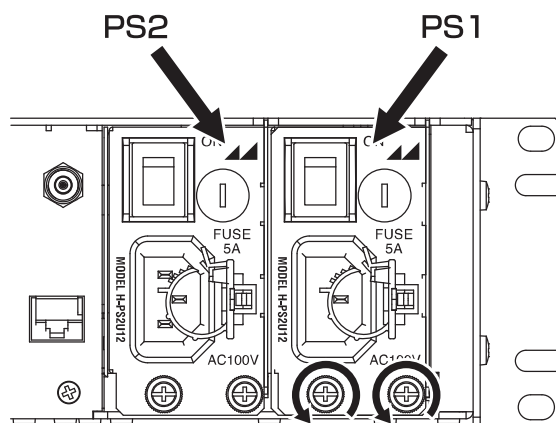
■電源ユニット H-PS2U12

項 目	性 能	備 考
入力電圧範囲 (V)	AC100±10%	
電源周波数 (Hz)	50/60	
出力電圧 (V)	DC12±5%	
出力電流 (A)	0.7	最 大
使用温度範囲 (℃)	0～+40	本体周囲温度
外形寸法 (mm)	82 (H) × 45 (W) × 200 (D)	突起物含まず
質 量 (kg)	約0.6	

電源ユニット着脱方法

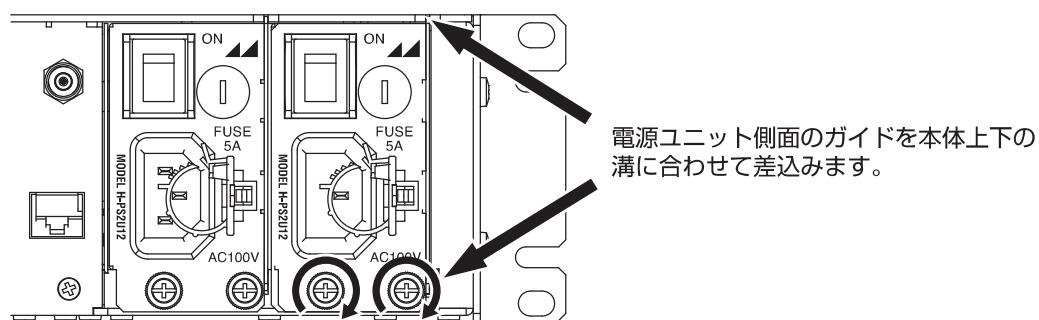
■電源ユニット取外し方法

1. 電源コードをコンセント・電源ユニットの両方から取り外します。
2. ユニット固定ねじを反時計回りに回し、ねじを外します。
3. 固定ねじを持って電源ユニットをまっすぐ引き抜きます。



■電源ユニット取付け方法

1. 電源ユニット側面の取付ガイドをHESWM8B本体の取り付け溝に合わせてまっすぐ押し込みます。
2. ユニット固定ねじを時計回りに回し、電源ユニットを本体に固定します。



注意

取外し・取付けをおこなう側の電源ユニットは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。感電や故障の原因となります。



注意

固定ねじは必ず手で回して、最後まで締めるようにしてください。ドライバーなどで無理に回したり、緩めすぎたりすることのないようにご注意ください。

施工説明書

設置場所・条件

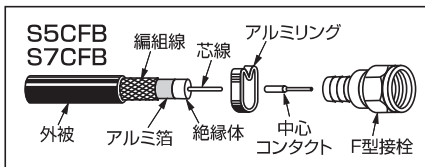
- 高温(40℃以上)の場所、直射日光にあたる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電機配線、配線工作物の近くや、強い電磁場を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

■各部の名称

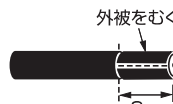


ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。
- 同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。

●F型接栓締付トルク 2.0N・m(約20kgf・cm)

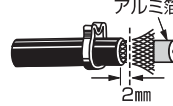
- ① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



- ② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



- ③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



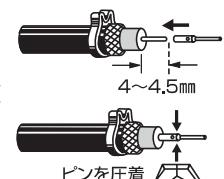
- ④ 編組線をめくり返します。



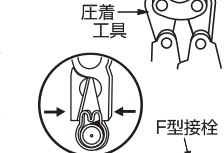
- ⑤ 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。



- ⑥ 芯線を4~4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないようカシメます。



- ⑦ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりとぶつけてください。



⚠注意

加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

電源コードの接続方法

外部からの電源コードの接続は、以下の手順でおこなってください。

- ①電源端子は、本体の背面にあります。(各部の名称および機能をご参照ください。)
- ②電源コードを19インチラック内へ引き込み、接続してください。
- ③右図を参照し、電源コードの抜け止め処理をおこなってください。

⚠注意

作業を始める前に必ず供給元電源装置がOFFになっていることをご確認ください。感電の原因になります。

⚠注意

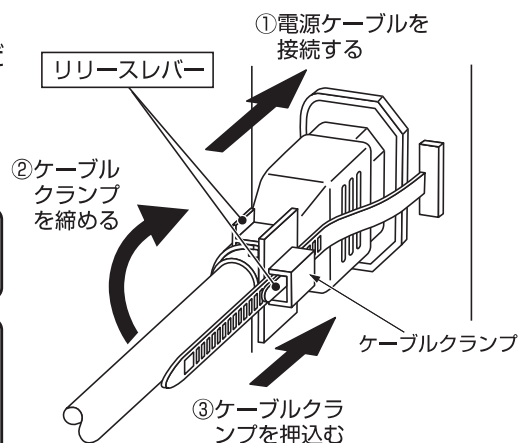
本器には同梱された電源コードセットを使用してください。また、同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ポイント

電源コードは、AC100Vインレットにしっかりと押込み、容易に抜けないことを確認した後に、抜け防止処置をおこなってください。押込みが不十分なまま抜け防止処置をおこなうと、電源コード抜けの原因となることがあります。

⚠注意

電源プラグは保護接地付きの3ピンです。必ずアース端子付きACコンセントに接続してください。接地をおこなわないと感電や機器の故障の原因となります。(接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事)

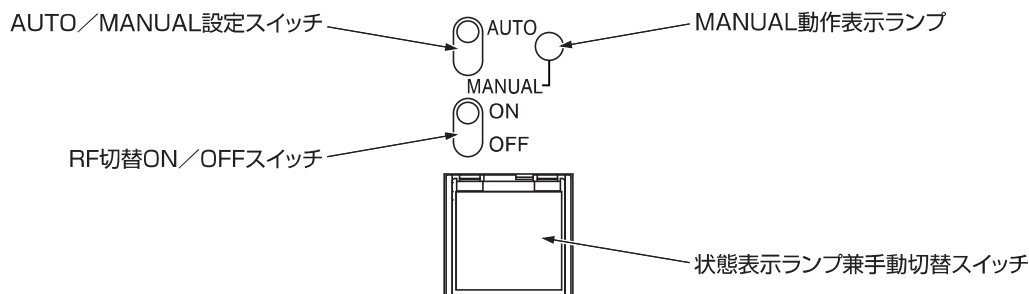


操作スイッチ／状態表示部について

本体前面の操作スイッチ／状態表示部にて、RF切替スイッチのON／OFF、動作モードの設定、手動切替などの操作をおこないます。また、各種の表示ランプによってRF切替スイッチの動作状態を確認できます。

●前面スイッチ／状態表示部

1～8の各RF切替スイッチごとに設定をおこないます。



AUTO／MANUAL設定スイッチ	RF切替スイッチのモード設定をおこなうトグルスイッチです。 AUTO側に設定すると、背面接点入力端子を使用しての自動切替モードに、 MANUAL側に設定すると、前面MAIN／SUB手動切替スイッチを使用しての手動 切替モードになります。
MANUAL動作表示ランプ	MANUALモード時に赤く点灯します。 (AUTOモードでは点灯しません)
RF切替ON／OFFスイッチ	RF切替スイッチのON／OFF用トグルスイッチです。ONにするとMAIN／SUB状 態表示ランプが点灯し、自動または手動での信号切替ができます。(OFFの場合、 状態表示ランプは消灯し、MAIN側固定になります)
状態表示ランプ兼手動切替スイッチ	RF切替スイッチのMAIN／SUB切替状態の表示ランプ兼、手動切替用の照光式押 しボタンスイッチです。 MAIN側選択時には緑、SUB側選択時には赤で点灯します。 MANUALモード時は手動切替スイッチを押すことにより、MAIN／SUBが交互に 切替わります。

ポイント

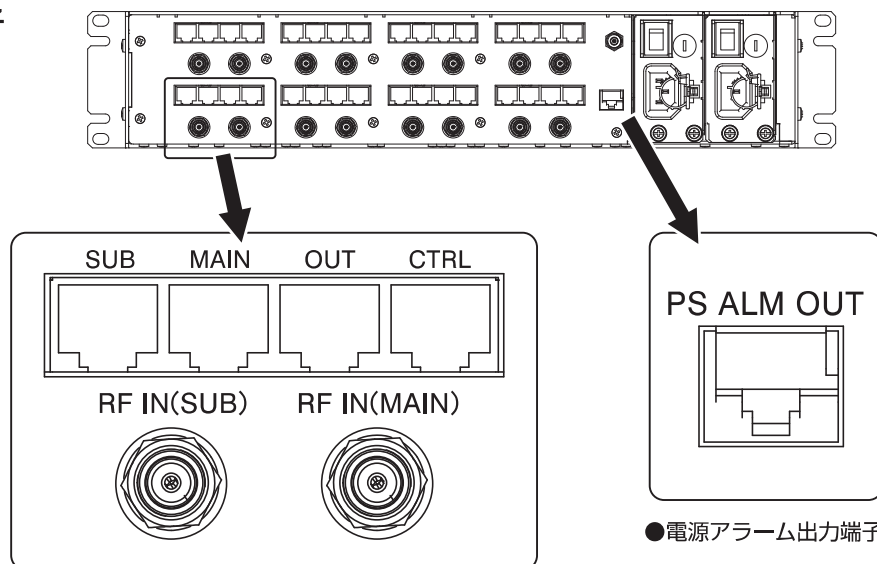
- RF切替ON／OFFスイッチがOFFのときは常にMAIN側の信号が選択されます。8波未満のシステムで空端子がある場合は、必ずMAIN入力端子を75Ωダミー抵抗で終端してください。
- AUTOモードでは背面接点入力端子が優先されますので、手動での切替操作はできません。状態表示ランプ兼手動切替スイッチはMAIN／SUB選択状態の表示のみをおこないます。
- AUTOモード動作中にMANUALモードに切替えた場合、AUTOモードで設定されていたMAIN／SUBの切替状態を保持します。
- 手動切替スイッチには誤操作防止カバーがついています。スイッチを操作するときはカバーを上げてボタンを押し、操作が終わったら必ずカバーを元に戻してください。
- 実運用前にシステム異常を想定した切替動作確認を必ずおこなってください。

接点入力・出力端子について

本体背面の接点入力端子に外部機器の接点出力を接続すると、外部機器のアラーム信号や制御信号によって各RF切替スイッチのMAIN／SUB自動切替えが可能です。使用する場合は前面RF切替ON／OFFスイッチをON側に、AUTO／MANUAL設定スイッチをAUTO側にしてください。また、接点出力端子を監視装置などの外部接点入力機器に接続することで、本器の遠隔監視が可能です。（コネクター形状：RJ45型）

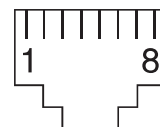
●背面接点入力・出力端子

- RF切替スイッチ側
接点入力・出力端子およびRF入力端子
各RF切替スイッチごとに
8波分あります。



●電源アラーム出力端子

●RJ-45コネクター内部端子配列



●各接点端子の説明

※アラーム信号および制御信号は、下表のようにRJ-45型コネクターの1～8番の各端子に割当てられています。

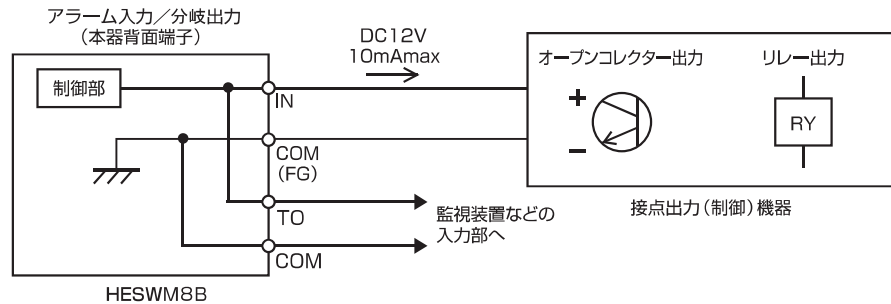
端子名	端子番号	本体表示	内 容
MAIN／SUB	1	EQP-ALM IN	MAIN機およびSUB機 機器異常アラーム入力
	2	SQ-ALM IN	MAIN機およびSUB機 入力信号アラーム入力
	3～8	COM (FG)	共通端子(接地あり)
OUT	1	EQP-ALM TO (MAIN)	MAIN機 機器異常アラーム分岐出力
	2	SQ-ALM TO (MAIN)	MAIN機 入力信号アラーム分岐出力
	3	EQP-ALM TO (SUB)	SUB機 機器異常アラーム分岐出力
	4	SQ-ALM TO (SUB)	SUB機 入力信号アラーム分岐出力
	5	RF SW STATUS	RF切替スイッチ状態出力
	6～8	COM (FG)	共通端子(接地あり)
CTRL	1	CONTROL IN (MAIN)	外部遠隔制御入力 MAIN
	2	CONTROL IN (SUB)	外部遠隔制御入力 SUB
	3～8	COM (FG)	共通端子(接地あり)
PS ALM OUT	1	PS1 ALM	電源ユニット1 アラーム出力
	2	PS2 ALM	電源ユニット2 アラーム出力
	3～8	COM (FG)	共通端子(接地あり)

■接点入力端子

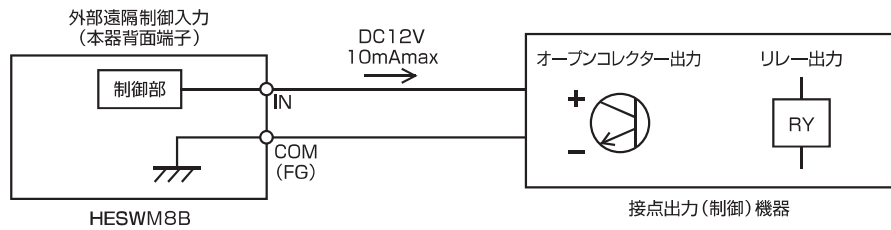
接点入力端子には、接続形式がリレーやフォトカプラなどの無電圧接点出力またはオープンコレクタ出力の接点出力を搭載した外部機器を接続します。入力接点数は6系統、そのうち4系統(*)は外部監視装置などに接続するための分岐出力と接続されています。

※MAIN側 EQP-ALM IN、SQ-ALM IN、およびSUB側 EQP-ALM IN、SQ-ALM INの4系統

●アラーム入力および分岐出力端子



●外部遠隔制御入力端子



ポイント

- 外部接点負荷抵抗は1kΩ以下にしてください。(電線抵抗含む)
- オープンコレクタ出力接続は端子に方向性があります。接続する前に、相手側機器の仕様をご確認ください。
- 端子形状はRJ-45型モジュージャックです。
- アラーム分岐出力のCOM端子は本器内部で接地されています。



注意

ケーブルの抜き差しは必ず電源を切った状態でおこなってください。機器の故障や感電の原因になります。

各RF切替スイッチは接点入力信号の組み合わせによって、MAIN/SUBの信号を切替えます。以下の表を参照して、各接点入力端子のIN-COM間をオープンまたはクローズに設定してください。

●表1. 外部遠隔制御入力 (CONTROL IN)

CONTROL IN (MAIN)	CONTROL IN (SUB)	MAIN/SUB切替状態
クローズ	オープン	MAIN
オープン	クローズ	SUB
クローズ	クローズ	MAIN
オープン	オープン	表2

CONTROL IN (MAIN)とCONTROL IN (SUB)のどちらか、または両方がクローズの場合、MAIN側およびSUB側のEQP-ALM IN、SQ-ALM INの状態にかかわらず切替動作をおこないます。(外部強制切替)

●表2. MAINおよびSUBアラーム信号入力 (EQP-ALM IN、SQ-ALM IN)

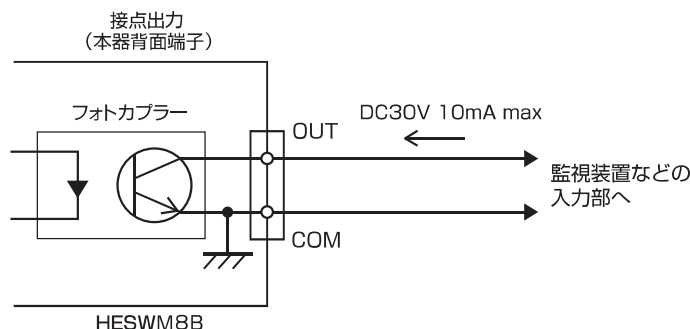
MAIN側 EQP-ALM IN	MAIN側 SQ-ALM IN	SUB側 SQ-ALM IN	MAIN/SUB切替状態
クローズ	クローズ	クローズ	MAIN
クローズ	クローズ	オープン	MAIN
オープン	クローズ	クローズ	SUB
オープン	クローズ	オープン	SUB
クローズ	オープン	クローズ	SUB
クローズ	オープン	オープン	MAIN
オープン	オープン	クローズ	SUB
オープン	オープン	オープン	SUB

CONTROL IN (MAIN)とCONTROL IN (SUB)の両方がオープンの場合、MAIN側EQP-ALM IN、MAIN側SQ-ALM IN、SUB側SQ-ALM INの状態によって切替動作をおこないます。(状態監視・自動切替)なお、SUB側EQP-ALM INの信号は外部監視装置などへの中継のみで、本器の自動切替には使用しません。

■接点出力端子

接点出力端子は各RF切替スイッチの状態出力および電源ユニットのアラーム出力があります。出力形式はフォトカプラ絶縁NPNオープンコレクタ出力、OUT-COM間で以下の通りショートまたはオープンとなります。

- RF切替スイッチ状態出力……MAIN選択時：ショート、SUB選択時：オープン、電源断時：オープン
- 電源ユニットアラーム出力……正常時：ショート、アラーム動作時：オープン、電源断時：オープン



ポイント

- オープンコレクタ出力接続は端子に方向性があります。接続する前に、相手側機器の仕様をご確認ください。
- 接点出力端子の入力最大容量はDC30V 10mA以下です。必ず相手側機器の仕様をご確認ください。
- 端子形状はRJ-45型モジュージャックです。

⚠注意

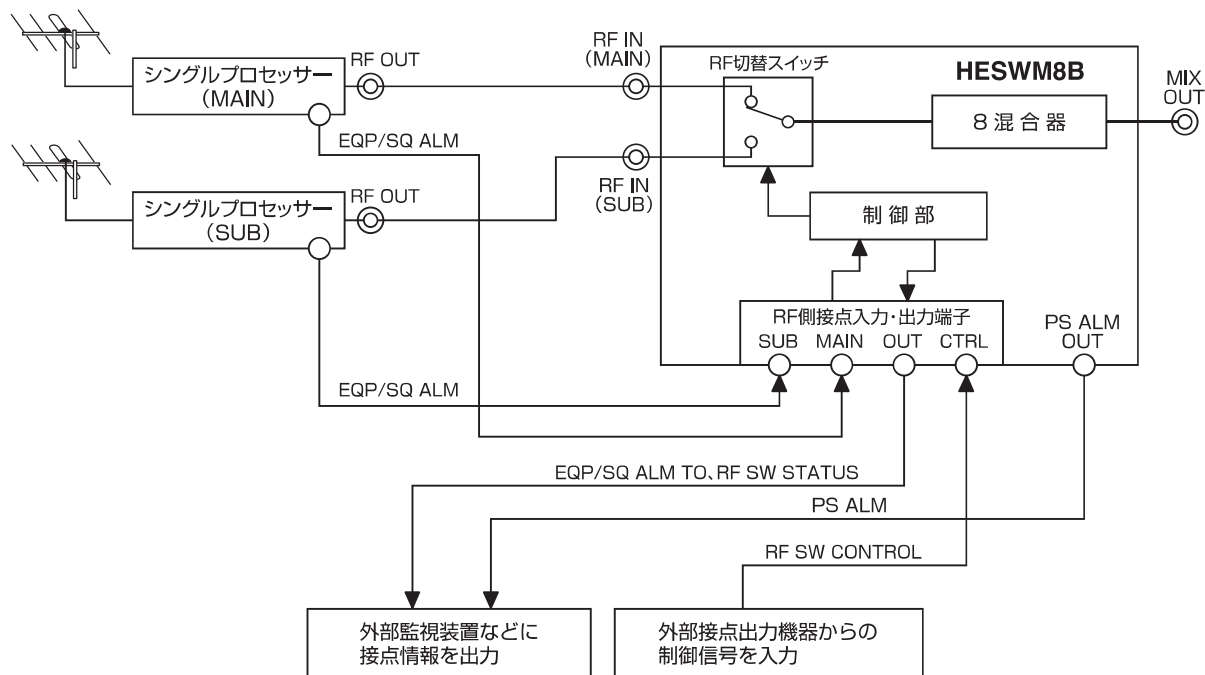
ケーブルの抜き差しは必ず電源を切った状態でおこなってください。機器の故障や感電の原因になります。

システム例

本器と弊社製シグナルプロセッサなどを組み合わせることで、1対1自動バックアップシステムの構築が可能です。

■接続例

各RF切替スイッチごとに、MAIN・SUB 2台のシグナルプロセッサを接続します。
本器1台で最大8波、16台のシグナルプロセッサを接続可能です。



- 上記システムでMAIN側に異常が発生した場合、SUB側に自動的に切替わります。また、MAIN側が復旧したときにはMAIN側に自動的に復旧します。
- 弊社製シグナルプロセッサのアラーム端子の出力形式はフォトカプラ絶縁NPNオープンコレクタ出力、OUT-COM間で通常時ショート、アラーム動作時はオープンモードとなります。「EQP」は機器の出力異常、「SQ」はRF入力レベルの異常を表しています。各機器の使用方法是製品に付属の取扱説明書をご確認ください。

システム操作手順

1. 電源を入れる前に、本器の設置場所や、本器や電源ユニットが正しく実装されているか、電源コード・接点入出力端子の結線が正しくおこなわれているかを確認します。
2. 各RF入力端子に同軸ケーブルでMAIN系、SUB系のRF信号を入力します。伝送波数8波未満のシステムでご使用になる場合は、使用しない番号のRF切替ON/OFFスイッチを必ずOFFにして、MAIN側RF入力端子を75Ωダミー抵抗で終端してください。
3. 電源ユニットのスイッチをONにすると、スイッチ内蔵のランプが緑に点灯します。
4. RF切替ON/OFFスイッチをONにします。
5. AUTO/MANUAL設定スイッチでRF切替スイッチの動作モードを設定します。AUTOモード設定時は接点入力信号の状態に応じて自動的にMAIN/SUBの切替えをおこないます。MANUALモード設定時はMANUAL動作表示ランプが赤く点灯し、MAIN/SUB切替スイッチでの手動切替が可能になります。(出荷時設定はAUTOです)
6. MAIN/SUBの選択状態に応じて、MAIN/SUB切替状態表示ランプが点灯します。(MAIN選択時：緑、SUB選択時：赤)
7. MAIN/SUBで選択されたRF信号が背面の混合出力端子より出力されます。
8. 混合出力モニター端子(-20dB)にて出力レベルを確認できます。出力レベルに対し、-20dBの値を示します。

保証書

型名	HESWM8B	製造番号	
お客様様	お名前		
	ご住所		
	電話番号	()	
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号		
年 月 日			
保証期間(お買上げ日より)	本体1年		
	(但し消耗品は除く)		

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
 - ②修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
 - ④海岸付近、温泉地等の地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦用途以外で使用情况の故障および損傷。
 - ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪本書のご提示がない場合。
 - ⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid only in Japan)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
5104660 平成27年1月